

No.	講義番号	講義名	担当教員	教員所属学科	受講対象科目	曜日	時間	授業形態	履修要項	シラバスURL	PC使用有無	PC使用用途	受講条件	使用するテキスト
1	2114	インドリアデザイン基礎	熊野(男)	人間総合学科	L1	月	1	15	インテリアデザインは、身近な暮らしの場であるインテリア空間について、住まい手の意向や生活環境を踏まえ、更に快適なインテリア空間を創造するための学問である。本講義は、インテリア空間を構成するインテリア要素とインテリアに関する基礎知識を学び、基本図面(平面図)の読み取りができるようになることを目標とする。	http://www.indoaria.jp/shirasyasaku.html	使用する	Google Classroomにて資料の提供を行うため。		テキストは使用する。配布資料を用いる。
2	G110	社会学	海老田	社会福祉学科	N1, S1, P1, C1	月	2	15	社会学は、社会の構造や機能・制度などを踏まえて、社会における諸問題、たとえば人と人の関係、人と社会との関係、人と組織間との関係を中心に研究する学問である。本講義では、とりわけ社会学を基盤とした社会学部による現代社会の捉え方、①社会学の意義、②社会学の歴史、③社会学の発展、④社会学の未来についての理解を目的としている。「社会学」的にもこのことを考えるとはどのようなものか、社会学の古典や事例を通して学習し、学生一人ひとりが「ある事象や現象を考察する力」を養うことが、本講義の最終的な目的である。	https://www.kyushu-u.ac.jp/~socialsci/kyosei/kyosei.html	使用しない		大澤真幸 2019『社会学史』講談社(1400円+税)	
3	3138	ソーシャルワーク論Ⅱ	塩井	人間総合学科	L1	月	2	15	ソーシャルワーカーの領域と求められる役割、ソーシャルワークに係る専門職の概念と活動、ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と関わり、総合的かつ包括的な支援に多職種連携の重要性と内容について理解する。	http://www.shimizu-u.ac.jp/~swk/swk2.html	使用する	Google Classroomにて資料の提供、課題の提出を行うため。	11 ソーシャルワークの専門職と専門員(共通・社会部門) 中央法規 3190円(税込)	
4	3130	ボキャブラリービルディングⅡ	野中	人間総合学科	L1	月	3	15	英語運用能力向上に欠かせない語彙力を増やし、英検2級以上合格、TOEIC500点以上取得を目指した授業である。 「ボキャブラリービルディングⅡ」に引き続き、語彙を増やすための関連講座のほか、読解や聞き取りの方法・ヒントについて解説を行うなど、読解・聴解の練習の機会が増えるというメリットがある。引き続き新展開の課題、問題演習を行なう。	http://www.kyushu-u.ac.jp/~english/vocabulary/building2.html	使用する	毎回の小テスト、定期テストすべてで Google Classroom、Google フォームを使用している。	書名：『漢語速報・英単語 Daily 1500 ver.4』 著者：松本美江 出版社：Z会 出版年：2024 価格：¥2,090 (税込定価) ・『ボキャブラリービルディングⅡ』の小テストと共通、第1週目の授業から使用する。	
5	0031	家族関係学 (現代の結婚と家族)	宮崎	幼児教育学科	L2	火	2	15	高度に発達した資本主義社会の価値観が浸透しつつある現代日本において、個人の感情や価値観の押し付けが盛んになつてきた。あるいは隠された利益が権威の元になつてくる。こうした状況の中ではたして家族という社会的存在についての考え方を可変なものか、また継続として社会制約や家族機能の果たすべき役割はどのように変遷してきたのか、家族心理学の知見をもふまげながら未来への考察をしよう。	http://www.kyushu-u.ac.jp/~family/family.html	使用しない		参考書籍：資料に関しては授業中に直接指示する。	
6	0042	中国語Ⅱ	張	人間総合学科	L1	火	2	15	「日本に出ようという国、中国、本講義は、中国語の読解を通してその実態に迫る第一歩です。 【授業の狙い】 中国語のテキストを正確に読み解くスキルの習得と、それを通じた中国社会への深い理解を目標とします。単なる語学学習にとどまらず、情報を主体的に収集し、分析する力を養います。 【学習のポイント】 「文法と語彙法」：基礎文法を再確認し、複雑な英文を効率的に読み解くための実践的なテクニックを伝授します。 ・時事ニュースの活用：経済・社会の最新ニュースを教材に、現代中国で起きている出来事と背景知識をバランスよく学びます。 ・多角的な視点(情報収集力)：日中間の対立や文化の違い、文化的な衝突に触れることで、中国語による「情報収集リテラシー」を開発します。 ・漢字という共通言語の活用：日本人にとって馴染み深い「漢字」というツールを使いこなし、国際的なコミュニケーションを自ら読み解く快感を共有しよう。」	http://www.kyushu-u.ac.jp/~china/chinese2.html	使用しない		どなたでも大歓迎です。	毎回プリントを配布し、前書きや音データを共有する。
7	1117	世界経済入門	張	人間総合学科	L1	火	4	15	グローバル、パラダイムを読み解く。多極化する世界経済の構造と未来。 本講義は、現代社会における世界経済の構造とダイナミクスを体系的に理解することを目指す。 授業では、国際機関、国際金融、および主要国企業の活動といった基本的要素を整理し、国境を越えた経済活動がどのように展開されているのか、その実態を具体的に学びます。さらに、GDP(国内総生産)やGNI(国民総所得)といった重要な経済指標の意味を理解し、最新の統計データに基づいた分析を行います。また、先進国と新興国、資源国と非資源国の違いや対立軸を用い、それぞれの経済特性や相互依存関係を、格差などの課題を通じて探求します。 単なる情報の羅列に留まらず、最新のニュースやケーススタディとして取り入れることで、より具体的な世界経済を多角的に分かるようにします。変化し続ける「世界の今」を捉え、複雑な国際情勢を読み解くための確かな洞察力を形成します。	http://www.kyushu-u.ac.jp/~economy/economy.html	使用する	配布資料は電子版であつても構いません。	どなたでも大歓迎です。	
8	2238	社会心理学	磯井	臨床心理学科	L1	火	4	15	社会心理学とは、社会的場面での人の心と行動を扱う心理学である。つまり、私たちの日常生活の中の心理学とも見える。社会心理学の基礎的な理論を学ぶと共に、現場で、またプライベートな生活においても活用できる内容を学ぶ。	http://www.kyushu-u.ac.jp/~psychology/socialpsychology.html	使用しない		山岸明彦(監修)『徹底図説 社会心理学』新潮社 2011	
9	3120	ヨーロッパの地理	青木(男)	人間総合学科	L2	火	4	15	現在世界地図の中でも大きな一角を占めるヨーロッパ地域の国々について、政治、経済、歴史といった観点からだけでなく、文学、音楽、宗教、思想、芸術、スポーツ、生活文化(食文化)など、中学校の地理にはあまりない観点からも国の特徴や先例等を考察します。ガイドブックやネットだけではわからない各国の背景を正しく知ることで、異文化交流を促進し、今後各自が当該地域との観光やビジネス、国際交流などを行う際に役立つ知識を得ます。	http://www.kyushu-u.ac.jp/~geography/europe.html	使用する	Google Classroomを使うため	なし(必要な資料2Classroomを通じて提示させていただきます)	
10	3247	ソーシャルワーク論Ⅳ	塩井	人間総合学科	L2	火	4	15	①人と環境との交互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて理解する。 ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて理解する。 ③ソーシャルワークの倫理とそれに伴う倫理的責任について理解する。 ⑤コミュニティワークの概念とその展開について理解する。 ⑦ソーシャルワークにおけるスーパービジョンについて理解する。	http://www.shimizu-u.ac.jp/~swk/swk4.html	使用する	Google Classroomにて資料の提供、課題の提出を行うため。		使用しない。
11	G105	文学	山口(男)	子ども発達学科	N2, S2, P2, C2	水	1	15	「子どもの本質」をテーマに、日本・海外の絵紙やファンタジー文学作品を取り上げ、読解・調査を行う。また、文学作品を「読む」「書く」だけでなく、文学作品について「話す」「聞く」という能動的な活動も取り入れ、物語が人々の人生や意識にどう関わってきたのか、また人々の身体や心にあるような影響を与えるのかについて考えていく。	http://www.kyushu-u.ac.jp/~literature/literature.html	使用する	Google Classroomにて資料共有、課題提出など	※次に指定する書籍を授業内で用います。 1. 『ライオンと魔法(ナルニア国物語1)』C.S.Lewis著、瀬島内訳、岩波少年文庫、2000年、全1冊 2. 『カスピア王子のつゆさくら(ナルニア国物語2)』C.S.Lewis著、瀬島内訳、岩波少年文庫、2000年、880円	
12	G304	人間発達学	佐藤(男)	子ども発達学科	N1, S1, P1, C1	水	1	15	各々のライフステージについて、その心理学的发展課題を整理しながら学ぶ。その中で、人間の発達社会科学的過程が身体的発達(あるいは認知・老化)の過程と密接に関連していることを理解し、さらにそこに社会的・文化的要因が加わり生じていることを理解する。それぞれの発達段階の特徴と、生きがちな適応上の課題を概念的に理解するとともに、医療モデルと発達モデルを対比させながら、発達支援のあり方について考える。	http://www.kyushu-u.ac.jp/~developmentalpsychology/developmentalpsychology.html	使用する	読解資料の配布と動画視聴環境の確保によってPC(ノートパソコン)経由で行います。紙による資料配布はありません。	『ガイドライン発達心理学第2版』二宮記一、大野和博編、筑沢次郎(編)ナカニシヤ出版 2012年 2000円(本体価格)	
13	0041	中国語Ⅱ	張	人間総合学科	Y2	水	1	15	「日本に出ようという国、中国、本講義は、中国語の読解を通してその実態に迫る第一歩です。 【授業の狙い】 中国語のテキストを正確に読み解くスキルの習得と、それを通じた中国社会への深い理解を目標とします。単なる語学学習にとどまらず、情報を主体的に収集し、分析する力を養います。 【学習のポイント】 「文法と語彙法」：基礎文法を再確認し、複雑な英文を効率的に読み解くための実践的なテクニックを伝授します。 ・時事ニュースの活用：経済・社会の最新ニュースを教材に、現代中国で起きている出来事と背景知識をバランスよく学びます。 ・多角的な視点(情報収集力)：日中間の対立や文化の違い、文化的な衝突に触れることで、中国語による「情報収集リテラシー」を開発します。 ・漢字という共通言語の活用：日本人にとって馴染み深い「漢字」というツールを使いこなし、国際的なコミュニケーションを自ら読み解く快感を共有しよう。」	http://www.kyushu-u.ac.jp/~china/chinese2.html	使用しない		どなたでも大歓迎です。	毎回プリントを配布し、前書きや音データを共有する。
14	0044	中国語会話Ⅱ	張	人間総合学科	L1	水	1	15	「声に出す楽しさ」から始める。中国語コミュニケーションの第一歩。 本講義は初級レベルを対象とし、中国語の基礎となる「発音(ピンイン)」「基本文法」「日常表現」を体系的に習得します。単なる知識の暗記に留まらず、実際の場面の中で自然体で対応できるように、着実にステップアップすることを目標とします。 【学習のポイントと目標】 ・「話す・聞く」の徹底トレーニング：実践的な会話練習を重ね、相手の発音(アクセント・イントネーション)の模倣を入り込み、特に大きな声での「断言」を取り返し、「丁寧な言い方」を身に付けていきます。 ・視覚・聴覚・触覚	http://www.kyushu-u.ac.jp/~china/chinese2.html	使用しない		どなたでも大歓迎です。	
15	2239, Y19	発達心理学Ⅱ	宮崎	幼児教育学科	L2, Y2	水	1	15	発達心理学Ⅱでは主に青年期を扱うが、少し範囲を広げ、思春期から青年期、その先の成人期までとする。それだけの年代の中心での認知・社会性・人格の発達の特徴について取り扱うとともに、各年代で顕著になる心理的問題や問題行動を取り上げ、その原因やそれに対する支援について考えていく。また、主に青年期を中心として、本講義の目標には発達心理学の観点から、受講生の自己理解に役立つ知識を提供することを目指す。	http://www.kyushu-u.ac.jp/~developmentalpsychology/developmentalpsychology.html	使用しない			使用しない

No.	講義番号	講義名	担当教	教育科目分類	関連対象学科	曜日	時間	授業形態	講義概要	シラバスURL	PC使用有無	PC使用用途	受講条件	使用するテキスト
16	G119	国際ポラリティ学Ⅱ	藤澤	看護学科	N4, S4, P4, C4	水	2	15	この講義は、様々な文化、価値、状況における多様な国際ポラリティの現状の事例を取り上げながら、国際ポラリティの定義、要素、そして内包についての理解を深めることを目的とする。文化、価値、状況における多様な国際ポラリティの現状の事例を取り上げながら、国際ポラリティの定義、要素、そして内包についての理解を深めることを目的とする。	https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/	使用する	Moodleを活用した資料閲覧や情報共有	無し、eラーニングによる資料提供	
17	3111	観光入門	青木(研)	人間総合学科	L1	水	3	15	観光学は学際的な領域です。授業担当者は、観光と文学、ヨーロッパの旅と観光の歴史、旅行業を中心とする観光産業の実践知識、地域における観光の事例(特に新潟地域の観光)といった観点から観光を見ていきますが、それ以外にも、経済や経営、社会や文化など、多岐にわたる観光と関わり合うことが可能です。この授業では、各分野の視点から観光に関するさまざまなテーマを扱い、その中でも、今般の観光のあり方と観光産業の現状を扱います。また観光とはどのような分野なのかを説明するための学習方法を紹介し、「学生間」「学生と教員とで」一緒に考えることを通じて、観光と地域の関係といった「正解のない問い」に対する自分なりの考えを培うようにします。	https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/	使用する	Google Classroomを使うため	『新・観光学入門』中村忠明・王秋(編著)、河津洋典、2018年、2200円	
18	3122	アメリカの地理	関	人間総合学科	L1	水	4	15	この授業ではアメリカ合衆国建国までの歴史、そしてアメリカ50州を地図上で詳しくながら、各地域の観光に焦点を置きつつ、地理的特色、産業、大文化、社会問題などを学びます。地図のスキルを学びます。また、副都府建設として、アメリカ国内の都市計画を立てレポートにとめます。	https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/	使用する	Google Classroom、Google フォームの使用、最終課題の作成。	テキストなし。 毎回レシマを配布する。	
19	3136	多様性の理解	関	人間総合学科	L1	木	2	15	『多文化共生社会』とは多様な背景を持つ人々が、互いの文化の差異を認め、尊重し合いながら対等に関係を取り、社会の一員として共に生きる社会を言います。では、この『多文化共生社会』の実現を目指す日本で生活する我々は、「自分自身も」社会の多様な人々について理解を、考えることは必要でしょうか。知る事柄の大半は自分自身は「思い」で理解し、ある程度は他人と人間を共有することなく、特に意識的に訓練してしまふ恐れがあります。この授業では、偏見や差別のメカニズムを、今まで知らなかった「自分とは違う」人々やその文化、その人たちが抱える問題などを理解することで、今までの偏見の固定や偏見を刷新し、多文化社会で、その成員として生きる力を身に付けます。1月1日(日)に予定で実施されるユニバーシティ・ウィーク⑥SEIRYOへの参加を2コマが必須としてカウントします。また、評価対象としてレポート3本を作成します。	https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/	使用する	Google Classroom、Google フォームの使用、レポート作成。	テキストは配布せず。 毎回レシマを配布する。あるいはクラスメートに預ける。	
20	0074	情報処理基礎	永井	人間総合学科	Y1	木	4	15	皆さんの中にパソコン(コンピュータ)やインターネットを使ったことがないという人はいないかと思えます。しかし、それがいったいどのようなことを行っているのか、どのような仕組みなのかという点については、小学段階で習得のことはしているかも知れませんが、異様なイメージは持ち合わせている、こうしたことを知ることは、今後コンピュータやインターネットを使う、様々な事などに活用する場合には、具体的な操作法を知らなくても、そして何が行われているかを把握することはとても重要となります。この講義では、コンピュータネットワークの仕組みを基礎的なことから講義を行うとともに、これらの理解を通じて必要とされる様々なコンピュータスキル等(こうしたものをスキルと呼んでいます)について現状とを学んでいくべきです。コンピュータやネットワークについては、どんなと変化していきますが、こうしたことを基礎から学ぶことにより、こうした変化にも対応できるようになることをこの講義の目的としています。	https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/	使用しない		テキストは使わずに、プリントを配布する。	
21	3118	観光実務	藤	人間総合学科	L1	木	4	15	観光産業のメカニズムを理解する。実務・政策・トレンドを扱う多岐な視点。 本講義は、観光産業の中核を成す「旅行業」「宿泊業」「交通運輸業」を軸に、観光業の全体像を体系的に理解することを目的とする。 本講義は、観光産業の現状や未来の展望・課題などについて学び、観光業の発展に貢献するための知識やスキルを身に付ける。旅行会社、ホテル・旅館、航空・鉄道、バス会社など、各プレイヤーの役割を理解するとともに、最新の業界トレンドや最新の課題(オーバーツーリズム、デジタル化、持続可能性など)を具体的に考察します。 本講義を通じて、観光実務に関する基礎知識を習得するだけでなく、「観光(大規模な観光施設)×他業(観光の実施者)×観光(多角的な観光施設)」を融合させた、高度な「観光リテラシー」を磨き上げます。特に、観光や地域活性化に携わる上で、不可欠なプロフェッショナルな態度を養います。	https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/	使用しない		『観光ビジネス実務(2025年版)』加藤弘治(編著)、同友館(2025/4/7)、定価:3,080円(税別) 別途、毎回プリントを配布する。	
22	G107	法律	奥見	社会福祉学科	N1, S1, P1, C1	金	1	15	国家によって制定される法は、人が社会生活を営むための正式なルールである。法の治め方に関する基本的な仕組みを定めた憲法のルールである憲法、人々と人の言の争いなどに関するルールを定めた民法、そして労働者のために設けられた労働法の分類など、法律・私法・社会生活にさまざまな法が適用されているルールを学ぶ。この講義の目的は、法律について学ぶこと、法律の存在と役割について考えること、具体的な事例を多く用いて、理解し、その説明をこなせること、講義を通じて、社会における法の存在と役割に関心をもってもらい機会を捉えることにある。	https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/	使用しない		『法律127』同友館、2024年刊行予定。 その他、講義中に用いる最新の事例などの六法書を用いても良い。	
23	G125	人の暮らしと日本憲法	奥見	社会福祉学科	N2, S2, P2, C2	金	2	15	本講義は、日本国憲法に関する基礎的な知識の修得を目的とする。講義では、憲法の意義、日本国憲法の成立に至る歴史的背景、日本国憲法の理念、基本原則、各条項の意義、権利の保障と責任の所在、実定法における憲法の役割などを学ぶ。講義後半では、憲法の成り立ちを学ぶ。具体的なことは、権力のあり方から見て、内閣、内閣、裁判所、選挙権者、財政、地方自治、憲法改正等に関する課題を論じる。	https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/ https://www.kanagawa-u.ac.jp/~international/polarity/	使用しない		『目で見る憲法(第6版)』、初版正義館、刊行年、2024年。	